

KOGEI Art Fair Kanazawa 2024

PREMIUM TOUR

日本唯一の工芸に特化したアートフェア「KOGEI Art Fair Kanazawa 2024」の関連プログラムである4つの特別体験をすべて組み込んだプレミアムツアーを販売します。
※特別体験の詳細は、P2以降をご覧ください。

出発日

11月29日（金）

旅行代金

450,000円

定員1組（1名または2名）

※旅行代金は1組（1名または2名）で参加される場合の料金です。
1名参加でも2名参加でも同料金です。

※3名様以上の場合はご相談ください。受注型企画旅行としてご案内します。

日付	行程
11/29 （金）	金沢駅集合（11:30）⇒昼食は各自⇒KOGEI Art Fair Kanazawa2024⇒ホテルチェックイン⇒夕食は各自
11/30 （土）	ホテルロビー集合（9:30）⇒国立工芸館ツアー⇒昼食は各自⇒古美術商ツアー（石黒商店/榎本金陽洞/白井美術/遠田商店）⇒夕食は各自
12/1 （日）	ホテルロビー集合（9:30）⇒工房見学（牟田陽日・陶芸）⇒昼食は各自⇒金沢ハイライトツアー（兼六園・21世紀美術館）⇒金沢駅（17:00）

- 最少催行人員：1名 ●添乗員同行：有 ●食事：朝2回 ●利用車両会社：大和タクシー
- 利用ホテル：ハイアットセントリック金沢（シングルまたはツイン）
- 詳しい旅行条件を説明した書面をお申し込みの際にお渡しいたしますので事前に確認の上お申し込みください。 ●上記に含まれないもの：昼食・夕食は各自でお取りいただきます。
- 支払い方法：銀行振り込み・クレジットカード（Visa/Mastercard）

ご予約は11月25日（月）まで

株式会社ヴァケーション金沢本社 Tel: 076-232-6611 FAX:076-232-6634

石川県知事登録旅行業第2-203号

総合旅行業務取扱管理者 越原裕一

〒920-0022 金沢市北安江3丁目13-3

営業時間/平日10:00～18:00 土日祝は休業

Web:<https://www.go-vacation.co.jp>

E-mail:nozaki@go-vacation.jp

お申し込みこちら



旅行企画
実施

協力

認定NPO法人 趣都金澤

CONTENTS

国立工芸館企画展特別鑑賞

+ タッチ&トーク

● 国立工芸館企画展特別鑑賞

9月6日(金)~12月1日(日)まで開催している「心象工芸展」をキュレーションした研究員の解説を聞いたあとに鑑賞する特別企画。

● 体験型鑑賞「タッチ&トーク」

工芸館が所有する参考作品に実際に触れて対話しながら工芸品への理解を深める体験型鑑賞「タッチ&トーク」。

今回は三代徳田八十吉や小森邦衛をはじめとする人間国宝ほか近現代工芸を牽引する作家が手がけた作品を紹介。

共催：国立工芸館

● 国立工芸館とは

1977年に東京国立近代美術館工芸館として東京に開館。以来、45年以上にわたり、日本で唯一、工芸とデザイン作品を専門に扱う美術館として、工芸とデザイン文化の発展・周知に取り組む。2020年に石川県金沢市に移転。



太田拓実 夏撮影



タッチ&トーク風景
(三浦小平二《青磁豆彩香炉》2005) (c)国立工芸館

KOGEI ART FAIR KANAZAWA 2024

特別解説

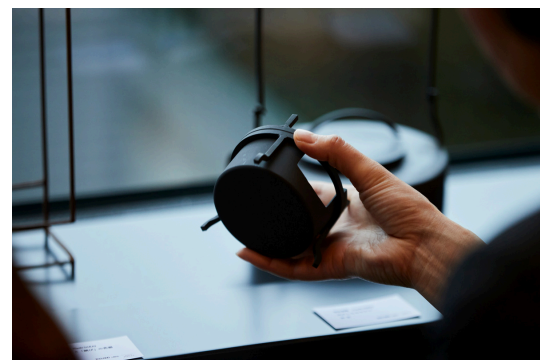
日本で唯一、工芸に特化したアートフェア。国内外40ギャラリーが「ハイアットセントリック金沢」に集結し、気鋭の若手から世界で活躍するアーティストの作品を展示販売する。今回は特別に解説付きでフロアをめぐるツアーを実施。おすすめ作家や人気ギャラリー、工芸のトレンドを知り、作品を吟味できる。また、会場内のVIPラウンジも利用可能。



Photo by Nik van der Giesen

● VIPラウンジ

KOGEI Art Fair Kanazawa 2024の会場であるハイアットセントリック金沢の14階にある「ルーフテラスバー」を専用ラウンジとして使用。工芸品での地酒提供や作家との交流も可能。



人気作家の工房見学

牟田陽日 (陶芸)

手びねりで作った磁器に、立体絵画・肉筆浮世絵のような手法で制作された九谷焼作品は、海外のコレクターからも絶大な支持を誇る。2023年に能美市に構えた新しい工房を訪ね、制作風景の実演や作品鑑賞とともに、自身の工芸やアートへの思いを伺う。



Profile

1981年東京都渋谷区生まれ。2008年ロンドン、ゴールドスミスカレッジ、ファインアート科卒業。2012年石川県立九谷焼技術研修所卒業。現在、石川県能美市にて工房兼住居を構える。陶磁器に彩色を施す色絵の技法を主軸に、日常的な食器、茶器などの美術工芸品からアートワークまで多岐に渡り制作。現代の自然に対する意識の在りようをテーマに、動植物、神獣、古典図案等を再構成し色絵磁器に起こしている。日本の美感、工芸、アートの間を交互に発信するような作品制作を目標とする。

古美術探訪

プレミアムツアーでは、古美術店4カ所を巡り、
いずれかの店舗で古美術品によるお茶体験を楽しめます。

● 石黒商店



ベンガラ格子が美しい、1904年創業の老舗古美術店。国登録有形文化財に指定された金沢町屋の店舗には、茶道具を中心とした古美術から近現代の工芸までセレクトされている。2024年は創業120年の節目の年として12月1日まで特別展示が催される。当日は明治大正の名品を鑑賞しながら、古美術品でお茶が楽しめる。

● 檜本金陽洞



こじんまりした店内には、店主自らがセレクトした茶道具を中心としたこだわりの品が並ぶ。ひがし茶屋街にほど近い店舗から街歩きをしながら茶屋へ向かい工芸品の器で一服。加賀百万石の城下町を愛する店主が街を歩きながら古美術に留まらない、金沢ならではの文化や歴史もレクチャー。

● 白井美術



21世紀美術館のすぐ近くに店を構える白井美術では、一代で店を立ち上げた店主がお客様と共感できる良い品をセレクトしている。今回は明治から昭和にかけての石川県ゆかりの美術を特別企画。貴重な品を店主が解説する。さらに21世紀美術館の歴史ある茶室「松濤庵」にて茶菓でもてなす。

● 遠田商店



昭和50年代に創業し、地元の工芸や茶道具を中心に様々な美術品を扱う遠田商店では、今回、古来から海外で高く評価される「蒔絵」を中心にラインナップ。また、店内には茶室があり、静かな空間で古美術品を用いた茶道体験を楽しむことができる。